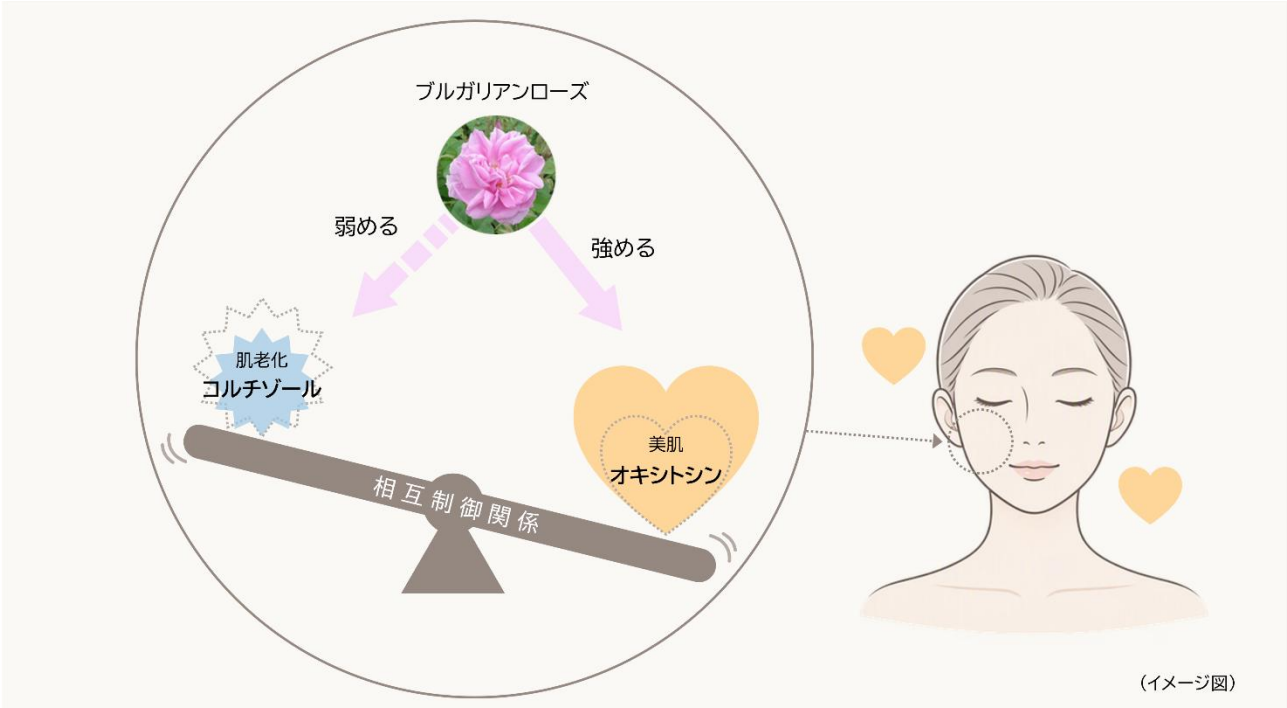
2026 年 11 月 6 日

「ブルガリアンローズ」が“美肌ホルモン”オキシトシンを高める新知見

～「こころと肌の関係」に植物成分からアプローチし、肌の老化を抑制して美しさを引き出す～

ノエビアグループは、スキンケアによる心地よさやポジティブな感情が肌を美しくする「こころと肌の関係」に着目し、“美肌ホルモン”オキシトシンのはたらきを高める植物素材として、「ブルガリアンローズ」を見出しました。
また、オキシトシンと相互制御関係にあり肌老化に関わるコルチゾールのはたらきも抑えることを明らかにし、肌における“美肌ホルモン”オキシトシンのはたらきを植物の力で一層高める新たなアプローチを示しました。
さらに、その効果を肌へ効率よく届けるカプセル処方技術を開発しました。
本研究は、当社がもつ「こころと肌の関係」と「肌における両ホルモンの相互制御関係」に関する知見を発展させ、長年培ってきた植物研究から新たな可能性を提示するものです。
この研究成果の一部は、2026 年 3 月 26 日から 29 日にかけて開催された「日本薬学会第 146 年会」で発表しました。



植物素材が“美肌ホルモン”オキシトシンを高め、肌の老化を抑制して美しさを引き出す



ブルガリアンローズ （ブルガリア産のダマスクローズ）

学名：*Rosa × damascena*
科名：バラ科　属名：バラ属

約 8 万枚もの花びらから得られる精油はわずか 1g という稀少価値をもった香りの女王。
ブルガリア共和国の首都ソフィアから東に約 200km、“バラの谷”で栽培され、毎年 5 月中旬から 6 月にかかる開花時期に、初夏の朝日が昇る前から 1 輪 1 輪手摘みで収穫している。

【研究背景】

相互制御関係に植物の力でアプローチし、“美肌ホルモン”オキシトシンを高めることを目指して

良い香りとともに肌に優しく触れるスキンケアは、心地よさやポジティブな感情をもたらします。こうした心理的な効果は化粧品における「感性価値」と呼ばれ、近年では単なる使い心地にとどまらず、肌そのものを美しくする作用をもつことが示されています。

ノエビアグループでは長年、この「こころと肌の関係」に着目し、ポジティブな感情が肌を美しくするメカニズムを科学的に解明する研究を進めてきました。2026 年には、ポジティブな感情によって分泌されるオキシトシンが多い人ほど肌状態が良好な傾向を確認し、この知見を踏まえ、当社ではオキシトシンを心と肌をつなぐ“美肌ホルモン”と位置づけました※1。

そこで本研究では、当社が長年培ってきた植物研究との融合により、植物の力によって“美肌ホルモン”オキシトシンのはたらきを高めることを試みました。特に 2020 年の研究において明らかにした、ポジティブな感情によって分泌されるオキシトシンとネガティブな感情によって分泌されるコルチゾールが、肌において互いの作用を制御し合う関係にある※2 ことに着目し、双方のホルモンにはたらきかける植物素材を探索することで、肌における“美肌ホルモン”オキシトシンのはたらきを一層高める新たなアプローチを目指しました。

※1 オキシトシンに着目し、「こころと肌の関係」を科学的に検証（第 28 回日本感性工学会大会）

※2 “幸せな気持ちが肌を美しくする” 幸せホルモンがストレス老化を抑えることを発見（IFSCC（国際化粧品技術者会連盟）第 31 回大会）

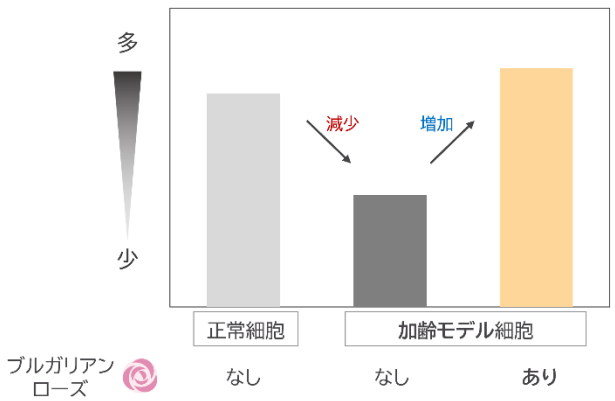
【研究成果】

1.「ブルガリアンローズ」が“美肌ホルモン”オキシトシンのはたらきを高めることを発見

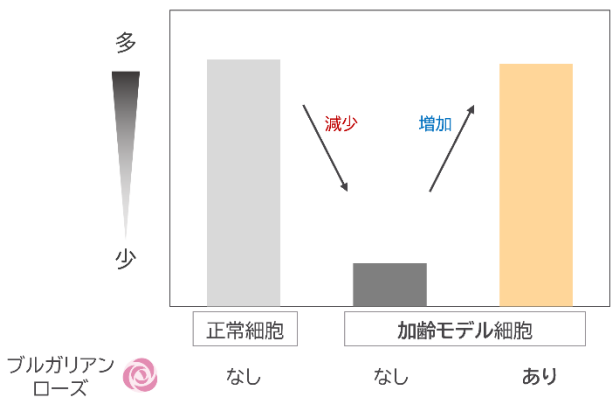
オキシトシンは、脳だけでなく肌でも合成されます。しかし、肌のオキシトシン受容体は加齢とともに減少するため、スキンケアによる心地よさやポジティブな感情が肌にもたらす効果を十分に享受しにくくなると考えられます。そこで、オキシトシン受容体にはたらきかける植物を探索したところ、「ブルガリアンローズ」が、加齢モデルの肌細胞において減少したオキシトシン受容体を増加させることを明らかにしました（図. 1）。さらに、受容体に結合するオキシトシンそのものの量を増加させる効果も確認されました（図. 2）。

これらの結果から、「ブルガリアンローズ」はオキシトシン受容体とオキシトシン量の双方にはたらきかけることで、“美肌ホルモン”オキシトシンのはたらきを高め、肌の美しさをさらに引き出す可能性が示されました。

（図. 1）オキシトシン受容体の量



（図. 2）オキシトシンの量

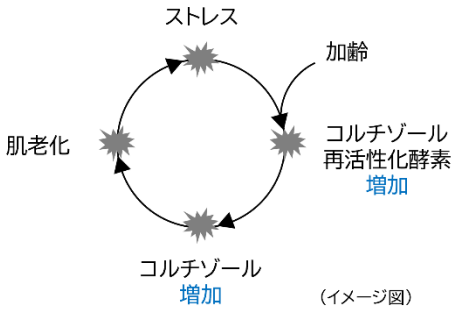


2.「ブルガリアンローズ」が肌老化に関わるコルチゾールのはたらきを抑えることを発見

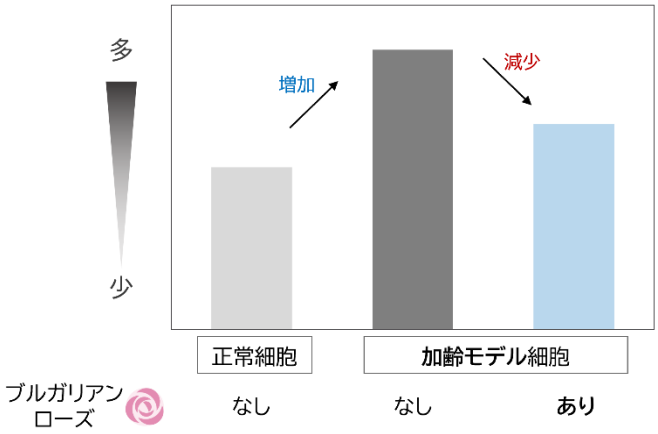
コルチゾールは、ネガティブな感情やストレスに関連して分泌が高まるホルモンで、肌老化との関わりが知られています。肌では一部が不活性型として蓄えられ、再びストレスを受けた際にコルチゾール再活性化酵素によって活性型へと変換されます。この酵素は加齢とともに増加することが知られていることから、肌のコルチゾールが増加し、肌老化を加速させることで、さらなるストレスを招くことが考えられます（図. 3）。そこで、このような肌老化の悪循環を抑える植物を探索したところ、研究成果 1 でオキシトシンへの作用が確認された「ブルガリアンローズ」が、加齢モデルの肌細胞において増加したコルチゾール再活性化酵素に対しても改善効果をもつことを明らかにしました（図. 4）。

「ブルガリアンローズ」がオキシトシンだけでなくコルチゾールにもはたらきかけることから、当社がこれまでに明らかにしてきた両ホルモンの相互制御関係を通じて、肌のホルモンバランスをよりオキシトシン優位へと導く可能性が示されました。

（図. 3）ストレス老化の悪循環



（図. 4）コルチゾール再活性化酵素の量



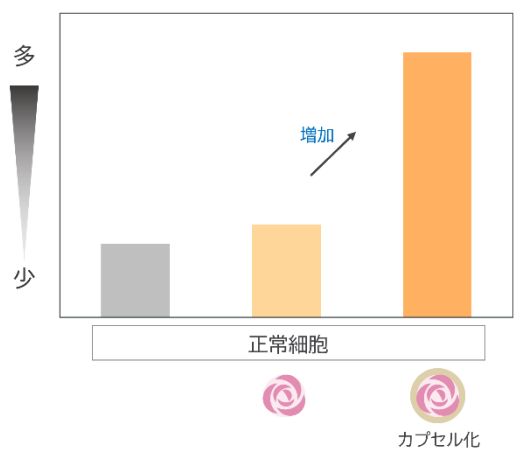
3.「ブルガリアンローズ」の効果を効率よく肌へ届けるカプセル処方技術を開発

研究成果 1 および 2 で両ホルモンへの作用が確認された「ブルガリアンローズ」について、その効果を肌へ効率よく届ける技術の検討を行いました。肌の最外層である角層は、脂質を主としたバリア構造をもつため、「ブルガリアンローズ」はそのままの状態では浸透しにくいという課題があります。そこで、角層の脂質構造と似た脂質二重膜からなるカプセルに「ブルガリアンローズ」を内包したところ、研究成果 1 および 2 で確認された作用がさらに高まることを明らかにしました（図. 5,6）。

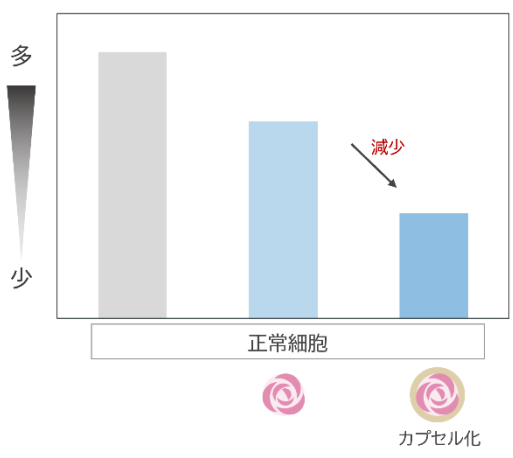
これらの結果から、「ブルガリアンローズ」をカプセル化することで、肌への浸透を高め、オキシトシンとコルチゾールのバランスにアプローチする効果をさらに高められる可能性が示されました。



（図. 5）オキシトシン受容体の量



（図. 6）コルチゾール再活性化酵素の量



【まとめ】

「ブルガリアンローズ」は、相互制御関係にあるオキシトシンとコルチゾールの双方にはたらきかけることで、オキシトシンのはたらきを一層高め、肌の老化を抑制して美しさを引き出す新たな可能性を示しました。
本研究は、“美肌ホルモン”オキシトシンや相互制御関係に関する当社の知見を発展させ、“美肌ホルモン”を高める植物素材を見出したことで、「こころと肌の関係」に植物の力からアプローチした点が大きな特徴です。
本知見から、「こころと肌の関係」に植物素材レベルではたらきかける化粧品との出会いを提案します。

【今後の展開】

今後も、「こころと肌の関係」に着目し、植物の力をはじめとするさまざまなアプローチから、心に響く化粧品の可能性を解き明かす研究を進めていきます。この研究成果は、今後の基礎化粧品の開発に応用されます。
ノエビアグループは、「自然を科学する」という理念のもと、創業以来培ってきた独自の植物研究と最先端テクノロジーの融合による高機能化粧品の提供を通して、化粧品がもたらす QOL 向上を目指してまいります。

＜ノエビアのこだわり＞
https://www.noevir.co.jp/about/

＜このリリースに関するお問い合わせ＞

株式会社ノエビアホールディングス　東京都中央区銀座 7-6-15　広報・IR 部　中西・富田
TEL 03-5568-0305　FAX 03-5568-0441　MAIL ir@noevirholdings.co.jp